

人間の心「2枚書いた作文」

私の小学校の頃という、もう60年も前のことである。そのころの子どもは、小学校に上がるまでは自分の名前も書けない子どもが多かった。だから、作文と言うものを生まれてはじめて書かせられたのは、一年生の終わる間際であった。あのときのことは、私はもうはつきりと覚えている。

先生は、作文用紙を2枚くれた。「この紙に、2枚も書けた者には三重丸だ。」と先生は言った。三重丸、三重丸と思いながら、私は1枚の紙に「けさは、ごはんを3杯食べた。」と書いた。二枚目の紙には、「みそしるも3杯食べた。そしたら、ばあさんがばかの三杯じると言った。」と書いた。2枚の紙に書いたのだから絶対、三重丸がもらえと思った。胸をどきどきさせていた。

「もうすぐ2年生になるというのに、こんなばかがおるぞ。」と言って、先生はクラスの者に2枚の作文用紙を見せて私の作文を読んだ。クラスの者は腹を抱えて大笑いをした。

私は恥ずかしさと悲しさで歯を食いしばり、声を立てずに肩を震わし耐えた。あの時の悲しさ、むなしさは今思い出しても胸がきりきり痛む。私はこの時以来、作文という心扉がピタッと閉まってしまった。そのため、小学校6年間の作文の成績は、甲乙丙の丙であった。そして、旧制の中学校に上がったら、佐々木八郎先生（後の早稲田大学教授）という人が居られた。その佐々木先生が私の作文を読んで「久保田っていう奴は、いい文章を書く」とものすごく褒めてくださった。そのことがきっかけとなって、作文も文学も好きになり、長じて文章を書いて生業を立てる人間になった。人間の心って、ほんとうに不思議ものだと思う。（椋鳩十「夕焼け色のさようなら」）

まさしく感動は人生の窓を開き、出会いによって人はつくられる。子どもたちには上質な出会いと感動を重ねてほしいものです。

令和3年度新入園児を募集しています

園庭の拡張及び図書室を保育室に改装する工事が始まりました。工期は二月末までとなりそうです。今回の工事により鴨池幼稚園では園児定数が15名増えて、1号認定105名、2号・3号認定45名 計150名となります。

そこで、令和3年度入園児の追加募集をおこなっています。4月入園をご希望の方がおられましたら園までお知らせください。

新型コロナウイルス感染症の拡大が続いています。

ご家族で発熱等の症状がある方が居られる場合は医療機関を受診していただき、解熱後24時間以上の経過観察またはPCR検査の結果をお知らせください。尚、PCR検査で陽性や濃厚接触者となった場合及び身の回りの方がそれらの該当者となった場合は園長までお知らせください。その際は子どもさんの登園は控えて自宅で経過観察をお願いします。

また、感染拡大防止のため、登園後に発熱や風邪症状等があった子どもさんは保護者に連絡をしてお迎えをお願いすることになります。ご理解とご協力をお願いします。

卒園式について

新型コロナウイルス感染症拡大の中での卒園式となりそうですが、園ではできる限りの感染症対策を実施し、子どもたちの晴れの門出をお祝いしたいと思います。尚、今年度は学級単位の二部制での卒園式を計画立案中です。詳しくは後日お知らせいたします。

保護者評価の結果をHPに掲載しました。

先日、ご協力いただきました保護者評価及び教職員評価の結果をHPに掲載しました。どうぞ、ご覧ください。尚、皆様よりの貴重な御意見等は今後の教育課程改善や園経営に活かしてまいります。有難うございました。

